

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

(令和7年4月～令和8年3月実施分)

作成日	令和8年6月3日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場14-33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びにその他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井 仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ屋6-38
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 ・施設の使用許可に関すること。 ・施設整備等の維持管理に関すること。	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部観光課 施設グループ	
	電話	0178-43-9536 (直通)
	e-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	・多くの皆様から「魅力ある施設として」利用されることを目指し、「魔法の水」と呼ばれる好適環境水を使用した水槽展示のほか、市内小中学校と連携し開催する「卒業おめでとう展」、ナメタガレイの生態や魅力・ユニークな特徴を紹介する「八戸のお正月！ご挨拶ナメタガレイ展」、北海道立オホーツク流氷科学センター「GIZA」との連携による「クリオネの展示」、開館時間を延長する自主事業「夜のマリエント」事業に取り組んだ。 ・広報誌「マリエント通信」、企画展ポスターを発行し、幼・保育園、学校関係を含む県内外約1,500箇所に配布したほか、ホームページを活用した広報活動や、「はっふる隊」の受入れ、マリエントの仕事を体験できる「マリエント体験ツアー」を夏と冬に開催し、普段は入ることが出来ない水槽の上からの餌やり体験や水槽作業の体験ができる内容にて参加者を募集し実施。令和7年度から一般部門を設定し、幅広い年齢層のお客様にも参加いただいた。 ・市内の公民館講座における出張水槽等の体験企画の実施・施設のPR活動に積極的に取り組んだ。 - また、青森放送主催「ジョブキッズあおもり」の体験受け入れを行い、市内外からの参加があった。施設のPR及び入館者増加につなげることが出来た。 - 更には、空調設備等改修工事による休館期間などを利用し、6月・7月・10月・11月・2月に市内の介護保険サービス事業所・幼稚園・保育園の計80件以上を回り、集客へ繋げるためマリエント通信を配布する等PR活動に取り組んだ。 ・令和8年1月1日(木)、県内で活動するドラゴンマルシェの「新鮮ミックスサラダ」を来館されたお客様にプレゼントする企画を開催し、地域食文化の普及とサービスの向上、及び集客を図った。当事業の実施は「年末年始も開館している公共施設」として、来館者から高い評価を得られた。 ・施設利用状況は、令和7年度入館者数は50,946人、(前年対比93%)、そのうち減免利用69件(前年78件)1,028人(前年1,433人)と前年度より少ない結果となったが、約2か月の休館期間があった中、令和7年度の目標人数を達成し、前年度の実績に近づける事ができた。 ・災害に対し主体的に動けるスタッフの人材育成のため、八戸東消防署鮫分署協力のもと、避難訓練を実施した。 - また、災害時に備え、地震発生時を想定した設備点検・復旧作業などの自主訓練をスタッフ内で定期的に実施した。
----	---

評 価	・ 八戸警察署コラボ水槽の展示を開催し、さらには、令和6年度に続き、令和7年度警察協力者感謝状をマリエントとして受賞した。 ・ 4階及び5階の展示では、関係機関や学校関係の他、小幡建設工業株式会社、八戸ガス株式会社等の企業も開催する機会が増えた。・ 4階レストランが冬季休業の間、休憩コーナーとして開放した。テレビやウォーターサーバー、自宅で寛いでいるような空間のキッズスペースを設置したことで幅広い世代のお客様がくつろげる場所となった。さらには、ワークショップの出店も行ったことで、より楽しめる場所としても活用することができた。 ・ 令和7年度はキッチンカーによる出店を3回行った。出店によってお客様の滞在時間の増加や満足度の上昇に繋がる事を狙いとした。 ・ マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの主な活動としては、次の2つに取り組んだ。 ①5月25日（日）、千葉県幕張メッセで開催された地球科学分野において国内最大の学会である「日本地球惑星科学連合（JpGU）2025年大会」の高校生ポスター発表においてシニア会員が2018年より継続し参加した。参加8回目となった今回は「災害」「縄文」「三陸ジオパーク」をテーマに3校混合チームで参加した。 ②11月27日（木）に開催された「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」海洋フォーラムにて、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブによる活動報告をする機会をいただいた。今回は中学生メンバーが初めて参加し、JpGU大会参加における学習の成果を含め、これまでのたんけんクラブでの活動について全国の議員連盟が一堂に会する中で発信する大変貴重な機会となった。 このほか、「八戸工業高等専門学校大研究」、「海上自衛隊護衛艦艦内見学」、JAMSTECむつ研究所見学、はちのへ「ちきゅう」情報館オープン18周年ギネス世界記録公式認定世界最深記録（7,906m）達成記念等、多くの関係機関のご協力のもと開催した。
今後の目標	・ 企画・展示・体験プログラムの充実を図るため、歳時記、地域行事などを活用して館内の飾り付けや生体展示など、季節感あふれる展示内容に取り組み、来館者が年間を通して「何度訪れても楽しい」と、繰り返し入館してもらうことを目指し多彩な企画開催に取り組む。また、地域の文化行事や祭り（八戸三社大祭、えんぶり）と連動した特別企画の実施に取り組む。 ・ 生体展示のキャプションや説明内容を研究成果や根拠あるものにするために研究機関との連携を深め、専門性と親しみやすさの両立を目指す。 ・ 青森県内水面漁場管理委員及び青森県水産振興審議会委員となり、青森県内の水産業の状況を常に把握し、展示及び生体の充実に取り組む。県・市が誇る地元漁業や水産業の特色を活かした展示を開催する。（スルメイカ展、つくり育てる漁業、青い森紅サーモン） ・ 地元学校や公民館との連携を強化し、出前授業等に取り組む。（特に学校向けの社会科見学や実習受入れを増加させる）。 ・ インスタグラム等のSNSを活用し企画・展示情報発信に積極的に取り組む。Youtubeも活用し、生物の様子を動画で紹介する等、足を運びたくなるような魅力を発信出来るよう取り組む。PCだけでなく、スマートフォンの利用頻度を高めるよう取り組む。 ・ 障がいや障がいのある方への配慮と理解啓発の取り組みを実施し、老若男女多くの皆様が安心して楽しめる場となるように目指す。（手話通訳など） ・ 休館日は、施設設備と機器維持点検を重点的に実施する。多くの皆様に利用していただくため、休館日を最小とし、7月～8月の開館時間を1時間延長することで入館者増加を図る。 ・ 常にお客様の声を聞き、展示内容やサービスの改善を行うため、3階でのアンケート調査を継続して実施する。不平・不満・要望の対応に速度を持って取り組み、入館者数・施設利用収入だけでなく、売店事業・自主事業を充実させ、観光客へ向けたお土産品販売やサービス提供に取り組むと共に、売上向上を目指す。 ・ 施設設備の必要に応じた改修を行うと共に、スタッフによる日常における施設設備の目視点検を随時実施する。お客様の安全確保と衛生管理を基本業務とし、トイレを含む毎日の施設の清掃・見回りを実施し、早急な問題発見と解決を行い、施設の魅力を保つ。 ・ 水産漁業および海洋に携わる、国、県、市町村からの協力をいただき、展示及びマリエント「ちきゅう」たんけんクラブなどの各活動に取り組み、八戸市の水産に関わる知識の普及活動を行う。

今後の目標	たんけんクラブはジュニア（小学生～中学生対象）・シニア（高校生～大学院生対象）・プ ラチナ（一般）と全ての年代を対象とし、3部制にて活動を行っている。たんけんクラブの 活動を通じて地元の自然環境や文化を理解し、地域に対する愛着や責任感を深めてもらう。 海洋・水産関係には、森・川・海に関わる多くの素晴らしい職種があることを体感、実感し てもらうとともに、できるだけ現場の人の話を聞き胸に留めることにより、子供たちが故郷 に誇りを持ち、故郷の問題解決に貢献する等、職業選択肢の幅を広げるきっかけとなれるよ う、更なる成長と活動の充実、会員増加を図る。
-------	--

■市（所管課）の総合評価

評 価	・これまでの指定管理業務で培われたノウハウを生かし、各種企画や展示を実施していた。 ・附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動を活発に行い、JpGU2025大会において参加賞を受賞した。 ・地域と連携したイベント等の開催や開館時間の延長等による来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。 ・臨時休館日には、館内外設備、水槽設備、修繕箇所等の点検を実施していた。 ・施設の維持管理では適切な管理がなされていた。 ・各学校等の職場体験の受け入れを積極的に実施するとともに、警察署や漁業組合など幅広い分野との連携による企画展示の充実を図っていた。 ・年間入館者数は50,946人と目標の45,000人を上回る結果となった。バラエティに富んだ企画や自主事業等、入館者数の増加に向けた取組が実施されていた。工事により約2か月間休館していたことを踏まえると、総合的にみて良好な管理運営・集客の取組が行われていたと評価できる。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	条例（施行規則）で定められている休館日（月曜日）を開館したほか、開館時間を延長し臨時休館を必要最小限に留めるなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・自主事業により季節ごと（年4回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長。 ・臨時休館日は、令和7年5月12日～7月15日、8月25日、9月24・25日、12月31日、1月13・14日、2月16・17日。（計73日間。）
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・避難訓練の実施 ・防災教室の実施

文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。また、減免手続きが適正に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今季（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の点検や修繕が適切に行われていた。また、令和6年度実施の包括外部監査で指摘を受けた備品の現物確認及びその報告が行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	利用者は前年度実績及び当初の目標を上回った。 入館者増加に向けて企画展示では旬の話題を取り入れ、広報紙やホームページ・SNS等を利用して積極的な情報発信が行われていた。 ・令和6年度 目標入館者数 60,000人 実績入館者数 54,593人(対前年度比91%、目標達成率91%) ・令和7年度 目標入館者数 45,000人 実績入館者数 50,946人(対前年度比93%、目標達成率113%)
自主事業	◎	入館者増加に向けて、各種自主事業を積極的に企画・実施していた。 ・売店事業 ・自動販売機事業 ・マリエント市 ・水の生き物 特別体験事業 ・夜のマリエント ・高橋晃氏「タネサシの記憶Ⅱ」AKIRA71 ・食堂施設（レストラン）の活用 ・キッチンカー出店 ・お正月特別企画 新春新鮮野菜プレゼント

その他の取り組み (運営に関する工夫)	◎	附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上を図った。また三陸ジオパーク情報発信のための拠点施設として、JpGUにおける災害とジオパークをテーマとした発表やジオパークに関する活動に多々取り組んでいた。 〈主な活動内容〉 ・ JpGU（日本地球惑星科学連合）2025年大会 ・ 八戸工業高等専門学校大研究 ・ 海上自衛隊護衛艦「むらさめ」「てるづき」艦内見学 ・ 三陸ジオパーク大研究 ・ 令和7年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」シンポジウムでの活動発表 ほか
------------------------	---	---

3 収支状況

収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																																	
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。																																																																	
		(単位：円)																																																																	
		<table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="7">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>10,249,650</td><td>10,915,727</td><td>11,674,820</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>50,890,000</td><td>50,890,000</td><td>50,912,000</td></tr><tr><td>実 費 収 入</td><td>886,000</td><td>632,552</td><td>1,298,100</td></tr><tr><td>(ちきゅうたんけんクラブ等)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>東北電力節電達成特典金</td><td>0</td><td>0</td><td>1,509</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>0</td><td>42,240</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>62,025,650</td><td>62,480,519</td><td>63,886,429</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>23,641,000</td><td>23,720,649</td><td>21,847,846</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>26,249,057</td><td>26,084,433</td><td>28,646,473</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>8,635,593</td><td>9,242,938</td><td>9,492,650</td></tr><tr><td>租 税</td><td>3,500,000</td><td>2,920,534</td><td>3,015,039</td></tr><tr><td>計</td><td>62,025,650</td><td>61,968,554</td><td>63,002,008</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>165,720</td><td>42,240</td></tr><tr><td colspan="2">収入-支出(①-②-③)</td><td>0</td><td>346,245</td><td>842,181</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	10,249,650	10,915,727	11,674,820	指 定 管 理 料	50,890,000	50,890,000	50,912,000	実 費 収 入	886,000	632,552	1,298,100	(ちきゅうたんけんクラブ等)				東北電力節電達成特典金	0	0	1,509	修繕料繰越金	0	42,240	0	計	62,025,650	62,480,519	63,886,429	支出②	人 件 費	23,641,000	23,720,649	21,847,846	維持管理経費	26,249,057	26,084,433	28,646,473	事業費・一般事務費	8,635,593	9,242,938	9,492,650	租 税	3,500,000	2,920,534	3,015,039	計	62,025,650	61,968,554	63,002,008	次年度修繕料繰越金③		0	165,720	42,240	収入-支出(①-②-③)		0	346,245	842,181
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																													
		収入①	利 用 料 金	10,249,650	10,915,727	11,674,820																																																													
			指 定 管 理 料	50,890,000	50,890,000	50,912,000																																																													
			実 費 収 入	886,000	632,552	1,298,100																																																													
			(ちきゅうたんけんクラブ等)																																																																
			東北電力節電達成特典金	0	0	1,509																																																													
			修繕料繰越金	0	42,240	0																																																													
			計	62,025,650	62,480,519	63,886,429																																																													
		支出②	人 件 費	23,641,000	23,720,649	21,847,846																																																													
			維持管理経費	26,249,057	26,084,433	28,646,473																																																													
			事業費・一般事務費	8,635,593	9,242,938	9,492,650																																																													
			租 税	3,500,000	2,920,534	3,015,039																																																													
計	62,025,650		61,968,554	63,002,008																																																															
次年度修繕料繰越金③		0	165,720	42,240																																																															
収入-支出(①-②-③)		0	346,245	842,181																																																															
<table><tr><td>指定期間</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>計</td></tr><tr><td>収 計画</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>支 実績</td><td>842,181</td><td>346,245</td><td></td><td></td><td></td><td>1,188,426</td></tr></table>	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	計	収 計画	0	0				0	支 実績	842,181	346,245				1,188,426																																														
指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	計																																																													
収 計画	0	0				0																																																													
支 実績	842,181	346,245				1,188,426																																																													
自主事業の収支状況	◎	収支は黒字となった。																																																																	
		収入：8,649,429円 支出：5,472,084円 収支：3,177,345円																																																																	

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ウェブサイトや広報誌で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。

苦情・要望等への対応	○	苦情・要望に対し、市への報告も適切に対応していた。 令和6年度実績 12件（苦情7件、要望5件） 令和7年度実績 3件（苦情1件、要望2件）
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（実用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（実用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者に配慮した案内（声かけや誘導等）が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	- アンケート箱へ投函された意見を毎日の終礼で共有し、接客や企画立案に活かしていた。 - 施設の見回りや点検を徹底して行い、必要な修繕を適宜行っていた。 - 作業日報を全体で共有することで、自身の業務のみならず他のスタッフの業務も把握し、全体の業務効率化を図っていた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書が遅延なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	23回	4月10日・25日	担当	施設運営や施設工事に関する打合せ
		5月15日・30日	GL、担当	ヒアリング・施設工事に関する打合せ
		6月30日	担当	施設工事に関する打合せ
		7月9日・10日・30日	GL、担当	備品確認・施設工事に関する打合せ
		8月5日・22日・28日	GL、担当	寄附物品確認・イベント会場の下見
		9月16日・24日	GL、担当	施設修繕に関する打合せ及び現地確認
		10月6日・28日	担当	修繕箇所の現地確認
		11月20日・25日	GL、担当	修繕箇所の現地確認
		12月26日	担当	災害復旧事業に係る業者との現地確認
		2月18日・26日	担当	施設工事に関する打合せ・扉の故障の状況確認
		3月9日・17日・26日	担当	施設工事に関する打合せ・施設運営に関する打合せ
	実施結果			
	施設運営や工事及び修繕等に関する打合せを行った。 地震等による被害は、災害復旧事業で対応した。			

※GL：グループリーダー